

募集要項の一部修正について

2022年10月17日
金沢美術工芸大学

2022年10月14日に公表した令和5年度一般選抜学生募集要項について、一部誤りがあり修正します。修正点は以下のとおりです。

13 ページ

デザイン科ホリスティックデザイン専攻

色彩構成 8:30 ~ 12:00

(休憩 12:00~13:30)

立体構成 13:30 ~ ~~16:00~~ 17:00

デザイン科インダストリアルデザイン専攻

色彩表現 8:30 ~ 12:00

(休憩 12:00~13:30)

立体表現 13:30 ~ ~~16:00~~ 17:00

令和5年度
学生募集要項

2023

一般選抜

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

大学概要

1. 大学憲章と活動指針	1
2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
3. 卒業後の資格	3

令和5年度学生募集要項 一般選抜

1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願期間・出願方法等	5
4. 試験科目及び試験日程	12
5. 試験実施場所	14
6. 選抜方法	14
7. 注意事項	15
8. 試験当日持参する用具等	16
9. 美術科油画専攻「作品提出」について	17
10. 美術科芸術学専攻「ポートフォリオ」について	18
11. 大学入学共通テストの受験を要する教科、配点等	19
12. 配点	20
13. 採点・評価基準	21
14. 新型コロナウイルス感染症等に関して	22
15. 合格者発表	22
16. 追加合格	22
17. 入学手続	22
18. 入学試験情報の提供	23
19. 個人情報の取扱い	24
20. 受験生の宿泊	25

大 学 概 要

1. 大学憲章と活動指針

大学憲章 Mission Statement

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

活動指針 Mission Policies

<創作の意欲と能力を育てる教育の推進> Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

<質の高い研究とオリジナリティの追求> Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

<地域と世界に貢献する芸術活動の展開> Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

<自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展> Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢美術工芸大学は、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興に寄与すべく1946年に創立されました。以来、個性豊かな教育・研究活動に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担いつつ、美術・工芸・デザイン界で活躍する数多くの人材を輩出してきました。

金沢美術工芸大学は、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」（大学憲章）を育成することを社会から負託された使命であると考え、次の3つの教育目標を掲げています。

1. 地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。
2. 深く芸術の神髄を探究し、美術・工芸・デザイン分野における卓越した知識と技術を継承することによって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化を担う人材の育成を目指す。
3. 市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核として、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する人材の育成を目指す。

このような教育目標に共鳴し、美術・工芸・デザイン分野における知識と技術の担い手となる意欲と資質を備え、積極的に勉学に取り組む主体性のある人を金沢美術工芸大学は求めています。

入学を希望する諸君に金沢美術工芸大学が望むのは、デッサン等の実技能力を養っておくことに加え、高等学校までの各教科・科目をできる限りしっかりと習得しておくことです。広い視野と基礎的な学力があつてはじめて、自らの問題意識を掘り下げて、より高度な制作・研究に進むことが可能になります。一般選抜試験では、すべての専攻が大学入学共通テストにおいて「国語」及び「外国語」を必須の試験科目として課しています。入学後の授業では、制作課題のプレゼンテーションやレポートなど、言語による表現が要求されます。また、筋道立てて読みとる読解力はあらゆる学問・情報に接近するために不可欠な基礎的能力だと考えます。

金沢美術工芸大学では、各専攻がその理念と教育方針に応じて、入学者選抜試験における教科・科目及び実技、小論文、面接等の要件を設定し、明確な目的意識をもった人の入学を求めて「求める学生像」を公表しています。また、美術科芸術学専攻、デザイン科インダストリアルデザイン専攻及び工芸科では学校推薦型選抜を実施しています。

学修に必要な技能と基礎的な学力を備え、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」を目指して勉学に励むことができる人を金沢美術工芸大学は広く受け入れます。

美術科

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術分野で活躍し、貢献する人材の育成を目指しています。

このことから、美術科では次のような人を求めます。

日本画専攻

- ・ 絵画に関する基礎的な描写・表現力や観察力並びに知識を有する人
- ・ 芸術について強い興味と意欲が有り、将来広く美術の応用面に携わる事を望む人
- ・ 将来、作家として広く国内外で活躍したいと希望する人

油画専攻

- ・ 絵を描く事が好きで、自己表現に向けて努力できる人
- ・ 基礎的技術を高め、知識を深めたい人
- ・ 国際的な美術の動きに興味を持っている人

彫刻専攻

- ・これからの彫刻に対して広く好奇心と探究心を持つ人
- ・表現活動の実現に向けて粘り強く取り組める人
- ・将来、芸術文化の世界で活躍する意志を持つ人

芸術学専攻

- ・複雑多様な現代社会における芸術に対して高い関心と問題意識を持つ人
- ・領域横断的な実技制作と論理的思考による視覚文化研究の双方に取り組める人
- ・世界への広い興味と好奇心を持ち、地域より成り立つ国際社会に貢献する意欲のある人

デザイン科

デザイン科は、専門分野における教育をより高度なものとした特色あるカリキュラムを編成しています。グローバル化や多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く捉え、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指しています。

このことから、デザイン科では次のような人を求めます。

ホリスティックデザイン専攻

- ・あらゆる事や物に好奇心を持ち、思考を止めず、手を動かし続けることができる人
- ・人と関わることが好きで、多様な意見を柔軟に取り入れ、自分の答えを見出す人
- ・金沢のまちを学びの場として、デザインの力で世界をよりよくしたいと願う人

インダストリアルデザイン専攻

- ・自らの手で、ものづくりをすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・人や生活、プロダクトへの関心が高く、コミュニケーションに積極的な人
- ・デザイナーとしてグローバルに活躍することへの意欲を持っている人

工芸科

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。1年次の最終課題以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかのコースを選択し、各々の素材に関する多様な技術の修得、現代の社会的ニーズに適応した高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成を目指しています。

このことから、工芸科では次のような人を求めます。

- ・基礎的な表現力を有し、工芸に対し幅広く関心を持つ人
- ・素材、技法、表現に対して、柔軟な対応力を有する人
- ・将来、工芸を通して広く国内外で活躍したいと希望する人

3. 卒業後の資格

- (1) 本学を卒業する者には、学士（芸術）の学位が授与されます。
- (2) 教職に関する専門教育科目を履修し、美術科またはデザイン科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）が与えられます。また、教職に関する専門教育科目を履修し、工芸科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（工芸）が与えられます。
- (3) 博物館に関する専門教育科目を履修し、本学を卒業した者には、学芸員となる資格が与えられます。

令和 5 年度学生募集要項

一般選抜

1. 募集人員

学部・学科		専攻	一般選抜 募集人員	入学定員 (学校推薦型選抜含む。)
美術 工学 学部	美術科	日本画専攻	15人	15人
		油画専攻	25人	25人
		彫刻専攻	15人	15人
		芸術学専攻	7人	10人
	デザイン科	ホリスティックデザイン専攻	40人	40人
		インダストリアルデザイン専攻	18人	20人
	工芸科			24人
計			144人	155人

2. 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストを受験した者とします。受験を要する教科・科目は、「11. 大学入学共通テストの受験を要する教科、配点等」を参照してください。

なお、本学では過年度の成績は利用しないので、令和5年度大学入学共通テストを必ず受験してください。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定(以下「旧検定」という。)に合格した者を含む。)及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個人の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

3. 出願期間・出願方法等

出願方法は「Web 出願」のみとなります。詳細は「Web 出願の流れ」を参照してください。

(1) 事前準備

パソコン等の利用環境	<p>PCでのインターネット出願では次のWebブラウザを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 8 以降 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えてください。</p> <p>スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次のOSを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOS 10.2 以降 ・Android 4.4 以降 <p>※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。</p>
PDF表示・印刷ソフトウェア	<p>志願票・受験票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が提供しているAdobe Acrobat Reader DC(無償)が必要です。</p>
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。</p> <p>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp</p>
顔写真データ	<p>出願前3ヶ月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なし、カラーの顔写真データを用意してください。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できません。</p> <p>写真は入学後の学生証にも使用するため、学校の制服姿は非推奨。</p>
大学入学共通テスト成績請求票	<p>大学入試センターから交付された令和5年度大学入学共通テスト成績請求票のうち、「公立大学中期日程用」を用意してください。</p>
封筒	<p>必要書類を郵送するため、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。</p>
用紙	<p>志願票や受験票を印刷するため、A4サイズ白色の用紙を用意してください。</p>

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ホームページ等から「金沢美術工芸大学インターネット出願サイト」にアクセスし、**必要事項を登録後、「(5) 必要書類」を書留速達郵便により郵送**してください。

金沢美術工芸大学インターネット出願サイト <https://e-apply.jp/ds/kanazawa-bidai/>

※直接持参不可、出願締切日消印有効

※送付された出願資料について、本学への到着(配達)有無確認の問い合わせには応じません。

日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

※出願サイトへの登録のみでは出願は完了していません。注意してください。



(3) 出願期間

令和5年1月23日(月)～2月3日(金) 出願登録：2月3日(金)17時まで
 入学考査料支払：2月3日(金)23時まで
 必要書類郵送：2月3日(金)消印有効

(4) 必要書類送付先

〒920-8656 金沢市小立野5丁目11番1号 金沢美術工芸大学事務局

※出願登録完了後にWeb出願サイトから宛名シートをダウンロードできます。

(5) 必要書類

I Web 出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書 類	作 成 方 法
① 志願票	出願登録完了後に印刷（A4判、カラー）してください。印刷後、大学入試センターから交付された令和5年度大学入学共通テスト成績請求票のうち、「 公立大学中期日程用 」を成績請求票貼付欄に貼付してください。 ※印刷後、登録内容に誤りがあった場合は大学事務局まで連絡してください。 入学考査料の支払完了後、登録内容の修正はできません。
② 宛名シート	出願登録完了後に印刷（A4判、カラー）してください。 印刷後、各自が準備する角形2号封筒（240mm×332mm）に貼付してください。

II 上記 I に加え、各自が準備して大学に提出するもの

書 類	作 成 方 法
③ 調査書等	出身学校長が作成厳封したものを提出してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧検定合格者を含む。）は、当該試験の「合格成績証明書」を提出してください（合格証明書は不要）。 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして「卒業証明書」及び「成績証明書等」を提出してください。
④ 志望動機書 彫刻専攻 デザイン科 工芸科のみ	美術科彫刻専攻、デザイン科及び工芸科志願者は本学ホームページから「志望動機書」をダウンロードのうえ、A4判で印刷し、記入してください。 なお、志願者の自筆で記入してください。 ※以下からダウンロード可能です。 ※専攻により様式が異なるため注意してください。 https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/admission/admission-info 
⑤ 角形2号封筒	市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、②で印刷した宛名シートを貼付し、出願期間内に必要書類（①、③、④）を「書留速達郵便」で郵送してください。 ※出願締切日消印有効

III 大学側からのメール受信後に Web 出願サイトからダウンロードして試験当日持参するもの

(⑦自己作品証明書は試験当日提出していただきます。)

書 類	作 成 方 法
⑥ 受験票	大学が出願を確認後、2月28日までに一斉に受験票を配信します。Web 出願サイトから受験票のダウンロードが可能となりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。必ず各自が印刷（A4判、カラー）し、試験当日に持参してください。 ※大学から郵送はいたしません。 ※2月28日までに受験票のダウンロードに関するメールが届かない場合は、本学事務局までお問い合わせください。 ※受験票は、入学手続きのときに必要となるので、受験後も大切に保管してください。
⑦ 自己作品証明書 油画専攻のみ	美術科油画専攻志願者は受験票とともに印刷（A4判、白黒）してください。 印刷後、日付・氏名を記入し、提出する作品の写真を貼り付け、実技試験当日に持参し、提出してください。

(6) 入学考査料（受験料）17,000 円

入学考査料の支払いは、インターネット出願登録完了後に行います。出願登録完了後、「Web 出願の流れ」に記載するいずれかの手順で支払手続に進んでください。

支払期限は、出願登録日を含め4日間です（出願締切日までの期間が4日より短い場合は、出願締切日が優先されます。）。支払期限内に入金がない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなるため、注意してください。

※入学考査料の他に、支払手数料等が発生します。

※入学考査料の払い戻しはいたしません。出願資格の有無等を十分にご確認ください。

(7) 出願に当たっての注意事項

- ① 本学の試験日程は、「公立大学中期日程」で実施します。
- ② 本学と同一日程に属する他大学・学部への出願（いわゆる重願）はできません。
- ③ 本学では、学科及び専攻間の併願はできません。
- ④ 本学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験する資格のない者として取り扱いますので、十分確認したうえで出願してください。
- ⑤ 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。公立大学協会ホームページ参照）の学校推薦型選抜・総合型選抜合格者は、当該大学の定める入学辞退手続により辞退を許可された場合を除き、本学を受験しても合格者となりません。
- ⑥ 他の国公立大学の前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、本学を受験しても合格者となりません。
- ⑦ 本学の美術科芸術学専攻、デザイン科インダストリアルデザイン専攻又は工芸科の学校推薦型選抜で不合格となった者も、本学の一般選抜を受験できます。
- ⑧ 出願受付後は、いかなる理由があっても書類の返却及び記載事項の変更はできません。

(8) 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）がある本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。

なお、事前相談は、次のとおりとします。

- ① 相談の時期
学生募集要項発表後から令和4年12月16日（金）まで
9時から16時まで（土・日曜、祝日を除く。）
- ② 相談の方法
事前相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接等を本学において行います。
- ③ 相談先
金沢美術工芸大学 事務局 電話 076-262-3531

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



※大学からのメール受信後

STEP
1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、大学入学共通テスト成績請求票



STEP
2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/kanazawa-bidai/>
または、
大学ホームページ ▶ <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>
からアクセス



STEP
3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録の方は「マイページ登録」からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて「ログイン」をクリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。

STEP

5

入学考査料の支払い

*考査料のお支払いには期限があります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

ミニストップ



マルチコピー機

あなかも、コンビニ、FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

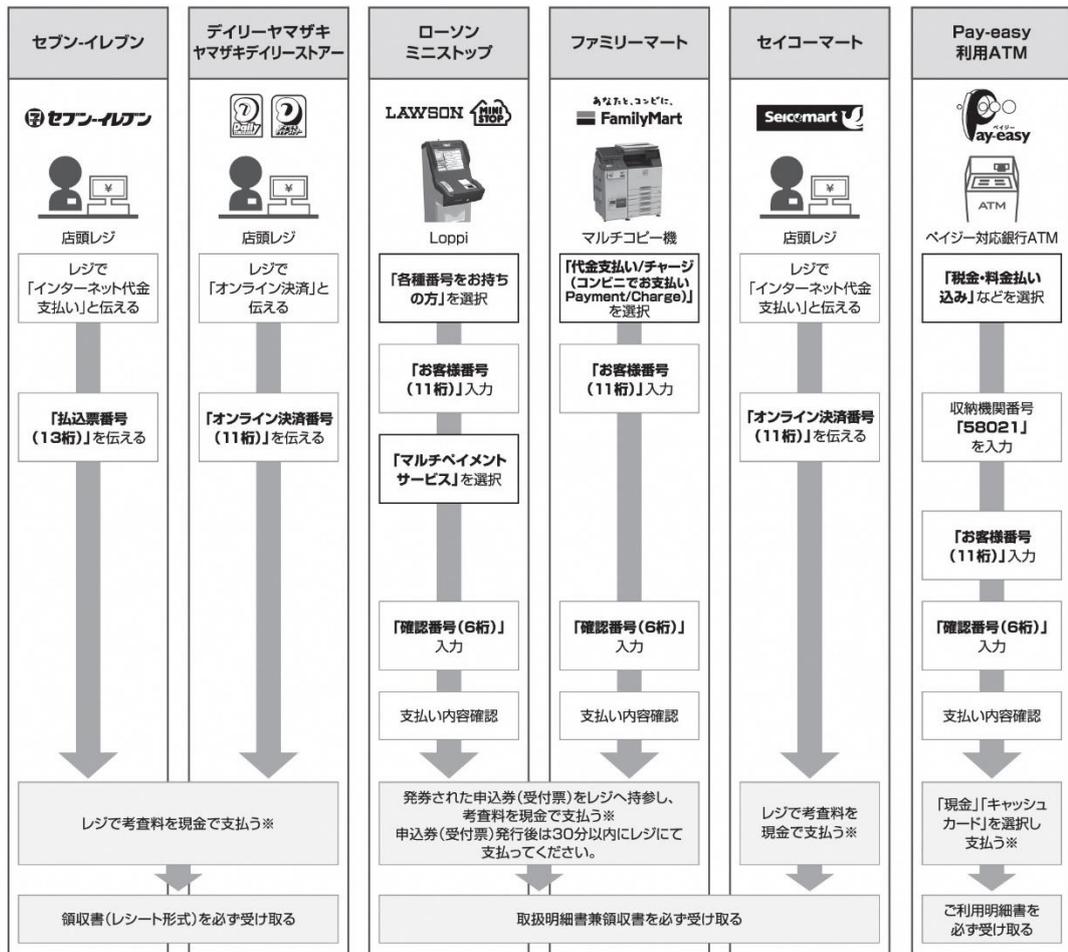


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



*ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

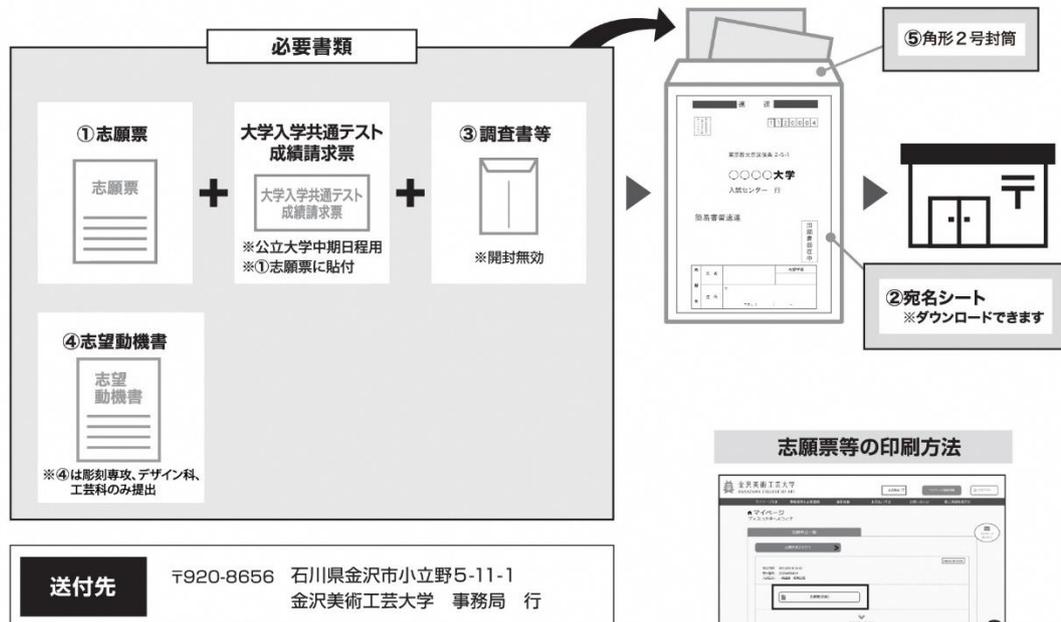
STEP

6

必要書類の印刷と郵送

*登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学考査料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。*出願締切日消印有効。



*出願受理した入学考査料・必要書類は一切返却しません。

志願票等の印刷方法



- マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学考査料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録のみでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日17時まで、入学考査料の支払いは出願締切日23時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

大学で出願を確認後、**2月28日までに** 一斉に受験票を配信します。
Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※油画専攻の志願者は「自己作品証明書」を印刷し試験当日持参してください。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



〈入力及び操作に関するお問い合わせ先〉

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター(運用会社:株式会社ディスコ)

TEL:0120-202079 E-Mail:cvs-web@disc.co.jp

※入試・大学についてのお問合せにはお答えできません。まずは、出願サイトの「よくある質問」にてご確認ください。

4. 試験科目及び試験日程 ※学科、専攻により集合時間が異なるので、注意してください。

学科・専攻		3月9日(木)	3月10日(金)	3月11日(土)
美術科	日本画専攻	実技試験 I (集合 8:30) 着彩描写 9:00 ~ 16:45 (休憩 12:00~12:45)	実技試験 I 合格者発表 10:00	実技試験 II (集合 8:00) 着彩写生及び面接 8:30 ~ 16:45 (休憩 12:00~12:45)
	油画専攻		作品提出 実技試験 油彩又はアクリル 木炭デッサン又は 鉛筆デッサン(選択) (集合 8:00) 8:30 ~ 16:15 (休憩 12:00~12:45)	面接 (集合 8:45) 9:00 ~ 12:00 (集合 12:45) 13:00 ~ 16:00 ※午前・午後のグループに分け、受験番号順に実施する。グループは出願時に登録したメールアドレスに通知する。
	彫刻専攻			実技試験 I 木炭デッサン又は 鉛筆デッサン(選択) (集合 8:30) 9:00 ~ 15:45 (休憩 12:00~12:45) 実技試験 I 合格者発表 20:00
	芸術学専攻	実技試験 及び 小論文 (集合 8:30) 9:00 ~ 16:00 (休憩 12:00~13:00)	面接 (集合 8:45) 9:00 ~ 12:00 (集合 12:45) 13:00 ~ 17:00 ※午前・午後のグループに分け、受験番号順に実施する。グループは出願時に登録したメールアドレスに通知する。	
デザイン科	ホリスティックデザイン専攻			
	インダストリアルデザイン専攻			
工芸科		実技試験 I (集合 8:30) 鉛筆デッサン 9:00 ~ 14:00 (休憩 11:30~12:30) 実技試験 I 合格者発表 20:00	実技試験 II (集合 8:30) 立体表現 9:00 ~ 14:00 (休憩 11:30~12:30)	

4. 試験科目及び試験日程（前ページの続き）

	3月12日(日)	3月13日(月)	3月14日(火)	3月20日(月)
日本画専攻				<h1 style="writing-mode: vertical-rl;">合格発表表</h1>
油画専攻				
彫刻専攻	実技試験Ⅱ 塑造及びスケッチ (集合 8:00) 8:30 ~ 16:45 (休憩 12:00~12:45)			
芸術学専攻				
ホリスティック デザイン専攻		実技試験 (集合 8:00) デッサン 8:30 ~ 12:30	実技試験 (集合 8:00) 色彩構成 8:30 ~ 12:00 (休憩 12:00~13:30) 立体構成 13:30 ~ 17:00	
インダストリアル デザイン専攻		実技試験 (集合 8:00) 鉛筆デッサン 8:30~14:30 (休憩 12:00~13:00)	実技試験 (集合 8:00) 色彩表現 8:30 ~ 12:00 (休憩 12:00~13:30) 立体表現 13:30 ~ 17:00	
工芸科	実技試験Ⅱ (集合 8:30) 色彩表現 9:00 ~ 14:00 (休憩 11:30~12:30)			

掲示
 10:00
 ホームページ
 11:00

5. 試験実施場所

石川県金沢市小立野5丁目11番1号

金沢美術工芸大学（交通アクセスについては裏表紙の内側を参照）

6. 選抜方法

- (1) 日本画専攻、彫刻専攻及び工芸科では、二段階の選抜を行い、実技試験Ⅰに合格した者のみ実技試験Ⅱを受験することができます。

実技試験Ⅰの合格者は、本学ホームページに掲載します。学内掲示及び本人通知は行いません。

- (2) 油画専攻、芸術学専攻、ホリスティックデザイン専攻及びインダストリアルデザイン専攻では、二段階の選抜を行いません。受験者は課される全ての試験を受験してください。

試験を1つでも欠席した場合、合格者となりません。

- (3) 入学者の選抜は、本学が課す実技試験等の得点と、大学入学共通テストの得点を合計して総合得点とし、総合得点の上位から順に合格者とします。
- (4) 日本画専攻、油画専攻及び芸術学専攻は、調査書を面接時の参考資料として活用します。
彫刻専攻、ホリスティックデザイン専攻、インダストリアルデザイン専攻及び工芸科は、調査書及び志望動機書を合否ラインで得点が並んだ場合に参考資料として活用します。
- (5) 油画専攻及び彫刻専攻の志願者は、木炭デッサン又は鉛筆デッサンを出願時に選択します。
- (6) **工芸科の試験のみ休憩時間を制作に充てることが可能です。**

7. 注意事項

- (1) 受験者は、指定した集合時刻までに、指定場所に集合してください。
やむを得ない理由で遅刻した者は、係員に申し出て、その指示に従ってください。
(注) ① 遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めません。
② 試験開始後 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (2) 油画専攻では、実技試験開始前までに所定の場所に作品提出を行わない場合、実技試験を受験することができません。また、芸術学専攻では、指定する期間内にポートフォリオを未提出の場合、実技試験・小論文及び面接を受験することができません。
- (3) 本学の受験票、大学入学共通テストの受験票及び自己作品証明書（油画専攻受験者のみ）を持参しない者は、試験場に入場することができません。紛失又は忘れた者は、その旨を係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は、必ず携帯してください。
- (5) 試験中は、本学受験票を指示された場所に提示し、すべて監督者の指示に従ってください。
- (6) 携帯電話・スマートフォン及び撮影・通信機能を備えた電子機器類は、休憩時間を含め試験場での使用を禁止します。時計としての使用もできません。電源を切り、鞆に収納してください。
- (7) 試験中に用具の貸借はできません。
- (8) 大学から配付した用紙等は、監督者からの指示がない限り一切持ち帰らないでください。
- (9) 以下の行為は不正行為とします。不正行為があった時は、その場で受験を中止させ、当該試験を失格とし、以後の受験を認めません。また、入学後においても入試結果を無効とすることがあります。
 - ① 「解答はじめ」の指示の前に解答を始めること。「解答やめ」の指示に従わず解答を続けること。
 - ② 試験時間及び昼食時間に、携帯電話・スマートフォン及び撮影・通信機能を備えた電子機器類を使用すること。
 - ③ 試験時間中に、指定した持参用具以外を使用すること。
 - ④ 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑤ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (10) 入学試験作品についての所有権は本学に帰属し、作品の返却はいたしません（美術科油画専攻の作品提出を除く。）。
- (11) 合格者の入学試験作品の一部は、入学後に本人の同意を得たうえで、オープンキャンパス、進学相談会等での展示及び本学ウェブサイト上で公開することがあります。
- (12) 昼食時には校舎外に出ることができませんので、あらかじめ昼食を持参してください。
- (13) 試験場は、昼食時間も含め全面禁煙です。
- (14) 試験場（校舎内）の下見は、認めません。
- (15) 受験生のための駐車場は設けていません。
- (16) 同伴者の入場及び忘れ物の受渡しは認めません。（障害のある受験者で、本学が認めた場合を除く。）
- (17) 指定された場所以外の建物や教室等には一切立ち入らないでください。
- (18) 入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学料の返還は行いません。
- (19) 出願時の情報に変更が生じた場合は、ただちに大学事務局へ連絡してください。ただし、志望学科及び専攻の変更はできません。

8. 試験当日持参する用具等

[受験票] 本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票を持参してください。

[実技試験等用具]

学科・専攻		試験科目		
美術科	日本画専攻	<実技試験Ⅰ> 着彩用具一式		<実技試験Ⅱ> 着彩用具一式
	油画専攻	<実技試験> 木炭又は鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (下敷用紙は白紙のもののみ使用可)		<作品提出> 提出する作品、自己作品証明書 ※詳細は「9. 美術科油画専攻「作品提出」について」 を確認してください。
	彫刻専攻	<実技試験Ⅰ> 木炭又は鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (下敷用紙は白紙のもののみ使用可)		<実技試験Ⅱ> 塑造用具、鉛筆、消しゴム、鉛筆けずり
	芸術学専攻	<実技試験及び小論文> 鉛筆デッサン用具一式		<面接> オリジナルポートフォリオ1冊 ※詳細は「10. 美術科芸術学専攻「ポートフォリオ」 について」を確認してください。
デザイン科	ホリスティック デザイン専攻	<デッサン> 鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (定規の使用は不可)	<色彩構成> 色彩構成に必要な用具一式 (水性絵具に限る)、 筆記用具一式、直定規、 三角定規、分度器、コンパス	<立体構成> 筆記用具一式、カッターナイフ、 はさみ、カッティング用直定規、 三角定規、分度器、コンパス
	インダストリアル デザイン専攻	<鉛筆デッサン> 鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (定規の使用は不可)	<色彩表現> 色彩表現に必要な用具一式 (水性絵具に限る)、 筆記用具一式、直定規、 三角定規、分度器、コンパス	<立体表現> 筆記用具一式、カッターナイフ、 はさみ、直定規、三角定規、 分度器、コンパス、 手拭き用タオル
工芸科		<鉛筆デッサン> 鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ	<立体表現> 筆記用具一式、金属製 30 cm定規	<色彩表現> 着彩用具一式(水性絵具に限る)、 筆記用具一式、直定規、 三角定規、コンパス

注意事項

- ・用具は、指定された物以外は使用できません。
- ・実技試験で使用するカルトンは大学で用意します。
- ・油画専攻の実技試験及び彫刻専攻の実技試験Ⅰにおいては、木炭紙又は画用紙を選択できます。
また、木炭及び鉛筆の併用も可能とします。
- ・本学の色彩試験では絵具を配布しません。各自で用意してください。

9. 美術科油画専攻「作品提出」について

油画専攻の志願者は、以下の条件に従って作品を制作し、実技試験当日に持参してください。

(1) 課題

「自画像を描きなさい。」

(2) 条件等

作品1点を提出すること。提出する作品は以下の条件を満たしていること。

- ① F15号キャンバス（日本サイズ、65.2cm×53.0cm）を使用し、画面の向きは縦型とする。
- ② 油彩又はアクリルを使用する。併用可。
- ③ 自画像は、室内にて椅子に座り、着衣・無帽とする。
 - ・お菓子を手に持った姿を鏡に映し、観察した描写とする。
 - ・お菓子そのものか、その包装かは問わない。
- ④ 提出する作品は本要項の発表後から任意の期間で制作されたものとする。
- ⑤ 作品は（作品写真も含め）未公開・未発表のものに限る。
- ⑥ 作品の裏に、作品の天地（上下）、及び本学受験番号を明記する。
- ⑦ 作品は十分に乾燥した状態で提出すること。額装は不可。
- ⑧ 作品は自己作品証明書と併せて実技試験当日に試験場の所定の場所に提出する。郵送等は不可。

(3) 提出日

令和5年3月10日（金）

(4) その他

自己作品証明書は、Web出願サイトからダウンロード後、受験票とともに印刷（A4判、白黒）してください。印刷後、日付・氏名を記入し、提出する作品の写真を貼り付け、実技試験当日に持参の上、提出してください。

<自己作品証明書イメージ>

(油画専攻志願者用)
○必要事項を記入してください。
令和 年 月 日
令和 年度 金沢美術工芸大学入学試験（美術科 油画専攻・一般選抜）
自己作品証明書
(あて先) 金沢美術工芸大学長
令和 年度金沢美術工芸大学入学試験（油画専攻・一般選抜）に際し、提出する作品は私（志願者）が所定の期間内に制作したものに相違ないことを誓約します。なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。
志願者氏名 (直筆) _____
受験番号 * * * * * (印字済) _____
作品写真貼付欄
以下の事項に沿って作品写真を貼付してください。 ① 作品の正面から画面全体を撮影したカラー（モノクロ不可）写真とする。 ② 作品写真に写るキャンバスの縦の長さは10cm～13cmとする。 ③ 作品写真のウラ面に志願者氏名・受験番号を記入する。 ④ 作品写真はこの貼付欄の枠内に収まるように貼る。 ⑤ 写真貼付の際、この事項書きは隠れてもよい。
(作品写真はこの点線内側に収まる大きさとする)

10. 美術科芸術学専攻「ポートフォリオ」について

美術科芸術学専攻の志願者は、下記の条件に従ってオリジナルのポートフォリオを1冊作成し、そのカラーコピーを期限までに1部郵送してください。また、面接時にオリジナルのポートフォリオを持参してください。

(1) 課題

「自分自身の活動」

(2) 条件等

これまでの自身の活動内容をまとめたオリジナルのポートフォリオを作成すること。

作成するポートフォリオは以下の条件を満たしていること。

- ① A4サイズのファイルおよび用紙を使用し、表紙と「自分自身のこれまでの活動内容（800字程度）」を含め、10ページ以内にまとめること。なお、ファイルの素材は問わない。
- ② 表紙および1ページ目は本学ホームページから「芸術学専攻ポートフォリオ様式」をダウンロードのうへ、A4判で印刷し、志願者の自筆で記入すること。

<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/admission/admission-info/general/>



- ③ 「自分自身の活動」とは、自身で実際に制作した美術作品の画像写真記録、実際の（或いは仮想の）展示の企画・キュレーション構想、または美術館・博物館・史跡などの文化施設の訪問時の作品鑑賞、視覚文化に関する調査などを含む広く芸術に関する創造活動一般を意味する。
- ④ 制作した美術作品、展示企画・キュレーション構想などでは、例えば、着想・発展・完成など、それぞれの一連のプロセスが分かるようにポートフォリオを構成すること。
調査・研究では、調査の動機、調査方法、明らかになった結果など、分かりやすいように構成すること。
- ⑤ アイデアスケッチ、デッサン（着彩を含む）、紙媒体のコラージュ、完成した自身の作品の写真、展示の写真、調査・研究の写真などを用いて活動の成果が分かるようにすること。
- ⑥ 活動記録写真などは現像した写真の貼付でもかまわない。
- ⑦ 活動記録写真などに添える説明文（文章）は自筆による記入でもかまわない。
- ⑧ CD、DVDなどの媒体による提出は認めない。
- ⑨ オリジナルのポートフォリオとそのカラーコピーは同一の内容とすること。
- ⑩ 提出されたポートフォリオのカラーコピーは返却しない。

(3) 提出先

〒920-8656 金沢市小立野5丁目11番1号

金沢美術工芸大学 事務局 電話 076-262-3531

(4) 提出期間

令和5年2月28日（火）～ 令和5年3月6日（月）

※期間内必着とする。期間内に未提出の場合、実技試験・小論文及び面接を受験することができません。

(5) 提出方法

レターパックプラスまたはレターパックライトを使用すること。それ以外は認めない。

品名には「一般選抜 芸術学専攻 ポートフォリオ」と記入すること。

11. 大学入学共通テストの受験を要する教科、配点等

大学入学共通テストの成績は、令和5年度の成績を利用します。

本学では、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要であり、詳細については以下のとおりです。

学 科	専 攻	区 分	教 科	科 目	
美術科 デザイン科 工芸科	日本画 油画 彫刻	必修 2教科	国 語	「国語」	
			外 国 語	「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択	
	ホリスティック デザイン インダストリアル デザイン	選択 1教科	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択	
			公 民		
	数 学		①	「数学I」「数学I・数学A」 から1科目選択	
			②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目選択	
	理 科		①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 から2科目選択	
			②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択	
	美術科	芸術学	必修 3教科	国 語	「国語」
				外 国 語	「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
地理歴史				「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 から1科目選択 ※2科目受験をする場合、第1解答科目の成績を採用します。 上記6科目の中から第1解答科目として1科目選択し、 受験してください。	

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングを受験してください。

リスニングを受験しなかった場合は失格とします（ただしリスニング免除者を除く。）。

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

12. 配点

学科・専攻		実技検査等	大学入学共通テスト							合計
			国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	計	
美術科	日本画	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点								
	油画	実技試験 700点 作品提出・面接 700点	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点
	彫刻	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点 (塑造 500点 スケッチ 200点)								
	芸術学	実技試験 250点 小論文 250点 ポートフォリオ 300点 面接 300点	300点	300点	300点※	—	—	—	900点	2000点
デザイン科	ホリスティックデザイン	実技試験 1400点 (デッサン 400点) (色彩構成 500点) (立体構成 500点)	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点
	インダストリアルデザイン	実技試験 1400点 (鉛筆デッサン 600点) (色彩表現 400点) (立体表現 400点)								
工芸科		実技試験Ⅰ 600点 実技試験Ⅱ 800点 (立体表現 400点 色彩表現 400点)	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点

注1 ※は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た1科目の成績を採用します。

ただし、地理歴史、公民及び理科（基礎を付した科目を選択する場合は2科目で1科目扱いとします。）において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を採用し、判定の対象とします。

注2 選択科目は、成績100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

注3 美術科芸術学専攻は、国語及び外国語（英語を除く）の成績200点満点を300点満点に換算します。

注4 外国語において、英語を受験した場合は、リーディング100点満点を160点満点（芸術学専攻は240点満点）に換算し、リスニング100点満点を40点満点（芸術学専攻は60点満点）に換算します。

ただし、リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

13. 採点・評価基準

令和5年度一般選抜は以下の採点・評価基準に基づき行います。

学科・専攻		採点・評価基準	
美術科	日本画	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、モチーフを的確に把握・認識し、構成・表現する基礎的描写力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフに対する粘り強い観察力。本質を豊かに表現する力。それらを分かりやすく伝える力。
	油画	実技試験	○提示されたモチーフの観察に基づいて、形態・立体感を表現する力。
		作品提出	○提示された課題に基づいて、色彩・実在感を表現する力。
		面接	○提出する作品について分かりやすく伝える力。
	彫刻	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを的確に把握し表現する基礎的なデッサン力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたテーマ、条件に基づいた塑造の創作力。スケッチによる構想力。制作意図を文章化する能力。
	芸術学	実技試験	○提示されたモチーフをデッサンする基礎力。そのデッサンから多様な形式展開をする発想力。
		小論文	○提示された課題をもとに、具現化できそうな作品案・企画案・プロジェクト案等を構想し、コンセプトを立ててまとめる思考力及び表現力。
		ポートフォリオ	○作品制作・展示企画・調査に対する発想力、表現力及び展開力など。
		面接	○プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力。
	デザイン科	ホリスティックデザイン	デッサン
色彩構成			○提示されたテーマに対して理解し、独創的な発想をする力。構成力と色彩感覚を表現する力。
立体構成			○提示された問題内容を読み解く力。独創的な発想をする力。考えを立体造形として表現する力。
インダストリアルデザイン		鉛筆デッサン	○提示されたモチーフの形や大きさ、質感などを的確に表現する力。
		色彩表現	○提示された問題内容を理解し、構想を色彩により表現する力。
		立体表現	○提示された問題内容を理解し、考えを立体として表現する力。
工芸科	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを、条件に従い形態・質感・空間に配慮し総合的に表現するデッサン力。	
	実技試験Ⅱ	○提示された問題内容の理解力、構成力、発想力及び独創性。立体造形力及び色彩による表現力。	

14. 新型コロナウイルス感染症等に関して

- (1) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患している者は受験できません。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師による治癒したとの診断がでていない者は受験できません。
- (3) 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。
- (4) 新型コロナウイルス感染症等に関する注意事項を **2月中旬に大学ホームページに掲載します。**必ず受験前に確認してください。
- (5) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、本要項に記載している内容を変更する場合があります。変更点については、本学ホームページで公表します。

15. 合格者発表

合格者の発表は、令和5年3月20日（月）午前10時、本学において受験番号を掲示し、本学ホームページには午前11時に掲載します。また、合格者には合格通知書及び入学手続に関する通知を「書留速達郵便」にて郵送します。

（注）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

16. 追加合格

入学手続きの結果、欠員が生じた場合は、3月28日（火）から追加合格を実施することがありますので、3月28日（火）から3月31日（金）までの間は、連絡が取れるようにしておいてください。この場合、**本人あて直接電話連絡をしますので、確実に連絡が取れる携帯電話及び固定電話（保護者連絡先）の番号を出願時に登録してください。**

17. 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は合格通知書とともに郵送します。

- (1) **入学手続期間**
令和5年3月27日（月）12時まで（必着厳守）
- (2) **入学手続方法**
本学事務局に必要書類を書留速達郵便で郵送してください。手続期間内必着とします。（直接持参不可）
- (3) **必要書類**
本学受験票、大学入学共通テスト受験票、入学金の振込証明書、入学手続申請書等
- (4) **入学金及び授業料**

① 入学金	金沢市内居住者	282,000円	（入学手続時に納入）
	上記以外の者	423,000円	（入学手続時に納入）
② 授業料	年間	535,800円	
	前期分（4月～9月）	267,900円	（4月30日までに納入）
	後期分（10月～3月）	267,900円	（10月31日までに納入）

※入学金・授業料等は改定される場合があります。
※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※納入した入学金は返還しません。
- (5) **その他の経費**

① 成美会費（後援会費）	60,000円	（入学手続後に納入）	
② 学生自治会費	10,000円	（入学手続後に納入）	
③ 研修旅行費	美術科（日本画、彫刻、芸術学専攻）	100,000円	（入学手続後に納入）
	美術科（油画専攻）	200,000円	（入学手続後に納入）

デザイン科インダストリアルデザイン専攻 120,000 円 (入学手続後に納入)
 工芸科 130,000 円 (入学手続後に納入)

※デザイン科ホリスティックデザイン専攻は徴収しません。

④ その他、学外研修費、用具・材料費等の学修経費

(6) 留意事項

- ① 入学手続期間内 (3月27日まで) に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 他の国公立大学・学部に入学者が行った者は、これを取り消して本学に入学者を行うことはできません。
- ③ 入学手続後の取消は認めません。

18. 入学試験情報の提供

(1) 公式 YouTube チャンネルでの入試情報公開

本学では公式 YouTube チャンネルにおいて、令和5年度一般選抜に関する入試概要の説明、参考例題の公開、合格参考作品の解説など様々な情報を公開しています。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLElGMKdfJFQMAF5NErLnQGwt_ILKJIRZV



(2) 情報の提供

- ① 学科・専攻別の出願状況等
令和5年1月23日からホームページで提供します。
- ② 志願者、受験者、入学者数等
令和5年4月中旬にホームページで提供します。
- ③ 合格者の大学入学共通テスト点数情報
令和5年4月中旬にホームページで提供します。
- ④ 入学試験問題
令和5年4月中旬にホームページで提供します。

(3) 入学試験個人成績の開示

本学は受験者本人から照会があった場合のみ、令和5年度一般選抜の成績開示を行います。手続方法、手続期間及び開示内容は以下のとおりです。成績開示は6月下旬に簡易書留で郵送します。

<手続方法>

希望者は、以下の資料2点を大学事務局に簡易書留で郵送してください。

郵送する際には、封筒の表に「成績開示請求」と朱書してください。

- ① 本学受験票 ※原本
- ② 返信用封筒 ※長形3号封筒 (120mm×235mm) に郵便切手404円を貼付
※受験者本人の郵便番号・住所・氏名・受験番号を明記 (6月下旬に受け取れる住所)

<手続期間>

令和5年5月1日から5月31日 (受付期間内消印有効)

<開示内容>

学科・専攻		開示内容
美術科	日本画	実技試験Ⅰの成績をABCDEの5段階ランクで開示し、実技試験Ⅱの受験者のみ実技試験Ⅰ及びⅡの総合点を開示します。
	油 画	実技試験及び作品提出・面接の成績をそれぞれABCDEの5段階ランクで開示します。

	彫刻	実技試験Ⅰの成績をABCDEの5段階ランクで開示し、 実技試験Ⅱの受験者のみ実技試験Ⅰ及びⅡの総合点を開示します。
	芸術学	実技試験、小論文、ポートフォリオ及び面接の得点をそれぞれ開示します。
デザイン科	ホリスティック デザイン	3つの試験と総合点の成績をそれぞれABCDEの5段階ランクで開示 します。
	インダストリアル デザイン	3つの試験の成績をそれぞれABCDEの5段階ランクで開示し、 3つの試験の総合点を開示します。
工芸科		実技試験Ⅰの成績をABCDEの5段階ランクで開示し、 実技試験Ⅱの受験者のみ実技試験Ⅰ及びⅡの総合点を開示します。

19. 個人情報の取扱い

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成13年法律第140号。以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報（住所・氏名・成績等）の利用については、次のとおりです。

(1) 利用目的について

- ① 合格者の入学手続に関わる業務
- ② 入学手続者の入学後の学籍管理等の修学に係わる業務及び健康診断等の保健管理に係わる業務
- ③ 入学手続者の入学金及び授業料徴収等の納付金管理に係わる業務
- ④ 1年次における入学金免除及び授業料免除並びに奨学生選考等修学支援に係わる業務
- ⑤ 個人を特定できない形での統計処理業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用し、又は第三者に提供することはありません。ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ① 上記(1)①～⑤の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- ② 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ③ 本人の利益となる大学関係者に情報提供する場合

20. 受験生の宿泊

1. 本学では、宿泊の斡旋をしておりません。
2. 宿泊施設の紹介は、金沢市旅館ホテル協同組合で行っています。下記をご参照ください。

金沢市旅館ホテル協同組合からのご案内

①受験生向け宿泊施設一覧

金沢市旅館ホテル協同組合公式サイト『金沢おもてなしの宿』<https://yadotime.jp>よりトピックス「金沢美術工芸大学受験生の宿泊について」から受験生向け宿泊プランのある旅館・ホテルをご覧いただけます。

宿泊のご予約は各旅館・ホテルへ直接お申し込みください。

なお、この宿泊プランの旅館ホテルに限りお電話にて「金沢美大受験」とお申し出頂ければ、入学試験期間中に予定を変更して予約を解約する場合のキャンセル料をいただきません。

②お電話でのお問合せ

ご要望に応じた旅館・ホテルをご案内します。

ご要望の方には当組合加盟旅館・ホテル一覧パンフレットをお送りします。

お問合せ先 金沢市旅館ホテル協同組合
営業時間 平日 10時～17時（土日祭日、年末年始は休業）
〒920-0918 石川県金沢市尾山町 9-13 金沢商工会議所会館 3階
TEL 076(221)1147 FAX 076(264)8433
URL : <https://yadotime.jp>

金沢美術工芸大学のキャンパス移転について

金沢美術工芸大学では「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」をメインコンセプトに、令和5年10月のキャンパス移転を予定しています。

新キャンパスでは、大学の活動を発信する場となる「アートプロムナード」や、囲われた空間で創作に集中できる「創作の庭」を配置するほか、全ての学生が専門分野を越えて利用できる「共通工房」をリング状に配置するとともに、展示や合評を行うスペースとなる「アート commons」を随所に配置することで、効率的な制作環境を構築し、学生相互が刺激しあえる空間を整備します。

また、隣接する用水沿いに遊歩道を整備し、キャンパス周辺の歩行環境の向上にも配慮する予定です。



アートプロムナード：大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート

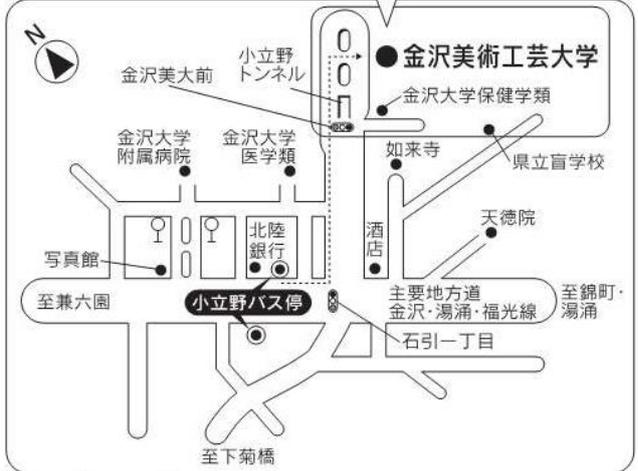


創作の庭：共通工房に囲われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間

● キャンパス レイアウト



● 交通アクセス



大学への交通

- 電車/金沢駅下車
- バス/金沢駅兼六園口バスターミナル6番のりば
 - ①東部車庫行、①金沢学院大学行、
 - ⑫湯涌温泉行、⑫北陸大学薬学部行、⑫北陸大学太陽が丘行、
 - ⑯駒帰行 (乗車約25分)
 金沢駅兼六園口バスターミナル7番のりば
 - ⑬湯谷原行 (乗車約25分)
 金沢駅金沢港口バスターミナル5番のりば
 - ⑩東部車庫行、⑬湯谷原行 (乗車約25分)
 いずれのバスも「小立野(こたつの)」で下車してください。(徒歩約8分)
- 自動車/北陸自動車道
 - 金沢森本ICから約15分
 - 金沢西ICから約25分
- 航空機/小松空港から
 - バス/リムジンバス (乗車約40分)
 - 金沢駅下車 (乗り換え、兼六園・金沢港口から電車の場合に同じ)
- タクシー/金沢駅から約20分



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

